

平成20年度

業務実績・決算の概要



平成21年7月

平成20年度業務実績

1 自己評価結果

(1) 自己評価の方法

①年度計画の各項目ごとに達成状況を5段階評価(5点、4点、3点、2点、1点)
*3点が標準(達成度90%以上100%未満)

積上

(中期計画の区分別の進捗状況)

②年度計画の5つの大項目区分ごとに5段階評価(s, a, b, c, d)
*bが標準(評点①の単純平均値2.7以上3.4以下)

積上

(中期計画全体の進捗状況)

③年度計画全体の達成状況を5段階評価(S, A, B, C, D)
*Bが標準(評点②の加重平均値2.7以上3.4以下)

(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期計画全体の進捗は「概ね順調」(標準のB評価)

◆評価概要

項目区分	中期計画 (H18~23) 項目数	年度計画 項目数	平成20年度実績(自己評価結果)									
			評点別項目数 ()は達成度 ①					評点平均値 ②		評定		
			5点 (120%以上)	4点 (100~120)	3点 (90~100)	2点 (70~90)	1点 (70未満)	平20	平19	平20	平19	
教育研究	138	78	4	8	63	3	0	3.17	3.13	b	b	
業務運営	41	15	0	1	10	4	0	2.80	3.00	c	c	
財務内容	13	10	1	1	7	1	0	3.20	3.11	b	b	
点検・評価	5	2	0	0	2	0	0	3.00	3.00	b	b	
その他	4	2	0	0	2	0	0	3.00	3.00	b	b	
全体	平20 201	107	5	10	84	8	0	③3.08		B		
	平19 201	160	5	22	118	15	0	3.09		B		

注: 「業務運営」のc評価について
評点平均値(2.80)ではb評価に該当するが、2点以下の項目数割合等を勘案し、
1ランク低いc評価とした。

2 平成20年度の主要な成果

(1) 教育研究

① 文部科学省大学教育改革支援プログラム（GP）の推進

文部科学省が各大学の優れた教育プログラムに対して財政支援を行う「GP」（Good Practice）について、平成19年度採択された5件及び平成20年度新たに採択された2件の計7件の取組みを着実に推進。

区分	採択テーマ (実施期間)	総事業費（千円）	
			うち平20
現代GP (教育)	やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開 (平成19～21年度)	43,086	14,501
	持続可能な社会に繋がる人的財産の育成 (平成19～21年度)	49,479	16,509
特色GP (教育)	重層的な学生支援教育による福祉人材養成 (平成19～21年度)	45,707	15,251
学生支援GP (学生支援)	総合的人間関係力を涵養する学生支援 (平成19～22年度)	67,173	17,624
学び直しGP (地域貢献)	栄養士キャリアアップ支援プログラムの開発 (平成19～21年度)	23,638	6,998
国際化GP (国際交流)	英語で世界に発信する地域遺産教育の開発（平成20年度）	6,400	6,400
その他	栄養教諭の専門性の高度化に関する先導的プログラムの研究開発（平成20年度）	1,437	1,437
計（7件）		236,920	78,720

② 特色ある基礎教養教育の展開

「環境」「健康」という共通テーマを設定し、全学をあげて取り組む初年次教育・導入教育である「基礎セミナー」（平成19年度開講）の履修状況は良好に推移。本学の特色ある教育プログラムとして機能を発揮。

③ 学部専門教育の機能発揮

目標合格率を掲げる5つの国家試験はその目標を概ね達成。

	②目標合格率		②実績合格率	(参考①実績)
社会福祉士	50%※	→	59.9%	(56.7%)
看護師	100%	→	100%	(93.2%)
保健師	100%	→	100%	(90.7%)
助産師	100%	→	100%	(100%)
管理栄養士	100%	→	87.8%	(94.1%)

※社会福祉士の目標合格率は、平成22年度末における合格者数累計／卒業生数累計

④ 学部卒業後の進路に関する目標の達成

(ア) 就職決定率は、7年連続95%以上を達成

	⑳目標		⑳実績	(参考⑲実績)
就職決定率	100%	→	96.8%	97.4%

(イ) 大学院進学希望者の大学院進学率は、2年連続100%を達成

⑤ 大学院教育の充実

(ア) 平成19年度に創設した助成制度も活用され、大学院生の学会発表件数は大幅に増加（19年度 7件 → 20年度 21件）

(イ) 平成18年度に開設した健康福祉学研究科博士後期課程において、2名が当該課程を修了し、本学初の「博士」の学位を授与。

⑥ 学生支援

(ア) 大学の公的活動に参画する学生に奨励費を支給する学生スタッフ制度を創設、実施

(イ) 学業成績優秀者に対する奨学金支給制度の平成21年度創設を決定（支給開始は平成22年度）

⑦ 地域貢献

(ア) オープンカレッジ（公開講座、サテライトカレッジ、キャリアアップ研修等）の推進

	法人化前（17年度）			20年度
延べ開催回数	109 回	→	(1.4倍)	→ 155 回
延べ受講者数	2,069 人	→	(2.0倍)	→ 4,117 人

(イ) 認定看護師教育課程、教員免許状更新講習の平成21年度開講の実現

(ウ) 学生や教員の自主的な活動と地域の要請をつなぐ情報拠点としてのボランティア窓口の平成21年度設置を決定

(2) 業務運営

① 情報提供のさらなる充実

学内規程集のウェブサイトによる一般公開、データブック「大学要覧」の刊行など、大学情報の提供方法、内容をさらに充実。

② 事務職員の計画的なプロパー化

プロパー事務職員採用計画に基づき、平成20年4月の5名採用に続いて、平成21年度は新たに7名を採用（うち4名は平成20年度繰上採用）。

(3) 財務内容

① 法人化のメリットを生かした料金の上限変更

法人自らの経営判断により社会情勢の変化に対応した料金設定を迅速かつ適切に行うことができるよう、現行料金の110%相当額に上限額を改定。

② 外部資金の積極的導入

文部科学省G Pの採択、県事業の受託等により、外部資金獲得額は中期計画の目標（法人化前の2倍）を大幅に上回る水準（法人化前の3.6倍）を確保。

	法人化前（17年度）		20年度	
文部科学省科学研究費	21,300	→ (1.3倍) →	28,200	
文部科学省G P	0	→ (皆増) →	78,720	
奨学寄附金	7,360	→ (1.3倍) →	9,332	
受託・共同研究	9,336	→ (2.0倍) →	18,678	
その他	500	→ (6.0倍) →	3,000	
計	38,496 千円	→ (3.6倍) →	137,930 千円	

③ 給与の減額

山口県における職員給与の減額措置を踏まえ、本法人においても相応の負担を負うべきとの考え方から、給与の減額を平成21年度から3年間実施。

3 平成21年度以降の主な取組

- (1) 国家試験対策の推進
- (2) 外国語（英語、中国語、韓国語）教育の充実
- (3) 入学広報活動の強化と志願者数の確保
- (4) 就職支援対策の展開
- (5) 人事評価制度の導入
- (6) キャンパス統合整備構想の策定

平成20年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成21年3月31日現在) (単位 百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
固定資産	6,127	固定負債	631
有形固定資産	6,123	流動負債	230
土地	2,400	【負債合計】	861
建物	3,108	資本金	5,811
その他	615	資本剰余金	△336
無形固定資産	4	資本剰余金	30
流動資産	405	損益外減価償却累計額	△366
現金及び預金	399	利益剰余金	196
その他	6	教育研究・業務運営充実積立金	58
		学生支援積立金	40
		当期末処分利益	98
		【資本合計】	5,671
資産合計	6,532	負債資本合計	6,532

(2) 損益計算書の要旨 (平成20年4月1日～平成21年3月31日) (単位 百万円)

費用及び利益の部		収益の部	
経常費用①	2,142	経常収益②	2,240
人件費	1,578	運営費交付金収益	1,189
教育研究費	348	授業料等収益	835
一般管理費	215	受託研究等収益	19
財務費用	1	補助金収益	79
経常利益 (当期総利益) ②-①	98	その他収益	118
合計	2,240	合計	2,240

2 官庁会計ベース (対前期比較)

(単位 百万円)

区 分	平20 A	平19 B	増減額 C=A-B	主な増減理由
収入				
運営費交付金	1,189	1,209	△20	中期財政計画に基づく減
施設費	21	20	1	
授業料等学生納付金	832	819	13	平19定員増に伴う増
国庫補助金等	86	70	16	補助事業新規採択等に伴う増
受託・共同研究収入	19	17	2	
その他	31	26	5	
----- 収入計 ①	2,178	2,161	17	
支出				
教育研究費	262	304	△42	学習棟整備の完了等に伴う減
受託研究等経費	19	17	2	
人件費	1,571	1,569	2	
一般管理費	230	206	24	食堂改修、会計監査人監査、例規システム構築等に伴う増
----- 支出計 ②	2,082	2,096	△14	
収支差額 ①-②	96	65	31	